



常勤理事が精米所とりんご園地を巡回 生育状況の確認と意見交換を実施

当JAの奈良寧組合長をはじめとする常勤理事4人が9月16日、管内16か所の精米所を巡回し、令和8年産米の概算金について生産者への説明と意見交換を行いました。特に今年産米を取り巻く情勢や今後の販売などについて生産者と意見を交わしました。当JAでは今後も管内の生産者や関係者との情報共有を図りながら、米の販売力強化を通じて、生産者の所得向上に努めてまいります。



精米所の設備を確認する奈良組合長(右)と吹田常務(左)



精米所を巡回し生産者と意見交換をする奈良組合長(右)

また9月28日、奈良組合長をはじめとする常勤理事4人が石川・平賀・尾上・田舎館・黒石・常盤・板柳地区の各2～3か所のりんご園地を巡回し、生産者と生育状況や今後の収穫などについて意見交換を行いました。奈良組合長は生産者に対し、「熊の出没も懸念される中ですが、安全には十分気を付けて、収穫作業を頑張っていたきたい」と生産者の皆さんを激励しました。



生産者(中央)と今後の収穫などについて意見交換を行う奈良組合長(左)と吹田常務(右)



りんご園地を巡回しりんごの生育状況を確認する奈良組合長(右)



青の煌めきあおもり国スポに協賛 平川市・黒石市から感謝状

9月17日、平川市役所で「青の煌めきあおもり国スポ平川市実行委員会企業協賛感謝状贈呈式」が行われ、奈良寧組合長が出席し、式では、工藤貴弘平川市長から感謝状が贈呈されました。ウエイトリフティング競技の優勝者への副賞として、「みらい米」5kgを19階級分・2種目、合計190kgを贈呈しました。



工藤平川市長(左)から感謝状を受け取った奈良組合長(中央)

また9月30日、黒石市役所で「青の煌めきあおもり国スポ黒石市協賛感謝状贈呈式」が行われ、村上勝憲専務が出席し、今大介黒石市長から感謝状が贈呈されました。当JAから黒石市へは、昨年11月に行われたリハーサル大会分「みらい米」10kg×2袋、5kg×25袋、アオレンりんごジュース 6ケース、そして今月に行われる本大会分のりんご2箱、「みらい米」5kg×48袋を贈呈しました。



今黒石市長(右)から感謝状を受け取った村上専務(中央)